

「地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所第二期中期目標（素案）」に関する提出意見及びこれに対する県の考え方

1 意見募集期間

令和3年9月27日（月）～令和3年10月26日（火）

2 意見募集の結果

意見提出件数 83件

[意見の内訳]

意見分類	件数
1 中期目標全般について	20
2 事業内容について	46
3 運営について	15
4 その他	2
合計	83

[意見の反映状況]

反映区分	件数
A 案に反映する意見	5
B 既に素案に反映済みの意見	39
C 今後の取組の参考とする意見	34
D 反映できない意見	0
E その他	5
合計	83

意見の内訳（意見分類）：1 中期目標全般について／2 事業内容について／3 運営について／4 その他

意見の反映状況（反映区分）：A 案に反映する意見／B 既に素案に反映済みの意見／C 今後の取組の参考とする意見／D 反映できない意見／E その他

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
1	1	各項目に対して目標値が設定した『ロードマップ』が記載されていないので、KISTECが今後の5年間で、何を変革しようとしているのかが良く理解できません。 何を重点に、どのような目標設定で進めるかが必要だと感じました。	具体的な指標の設定については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
2	1	第二期中期目標素案を読みましたが全体的に表現が抽象的で具体性に欠けると思う。目標に就いては例えば何々と書けば一般県民にも分かり易いと思う。	具体的な指標の設定については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
3	1	神奈川県として取り組む目標が明確でない 中期目標について、神奈川県として目指すものがよくわかりません。 記述されている事項は神奈川県でなくても、いずれの都道府県の目標としても違和感のないもので、神奈川県で行うべき具体的な目標が見えず、その必然性が感じられません。 もう少し、神奈川県の産業の特色などの現状分析を行い、取り組むべき分野を明確にした上での目標設定の必要性を感じます。 対象範囲が総花的であるので、貴重な税金を投入して最大の効果を得るためには分野を集中した目標が必要ではないでしょうか？	具体的な指標の設定については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
4	1	具体的な目標達成指標がない 目標を達成できたかどうかを評価するための指標がありません。 数値目標だけではなく、目標が達成された具体的状況の説明もないので、目標というよりは姿勢方針を示しただけの印象があります。 「住民に対して提供するサービス」とは何か、県民にどのような利便性をもたらすのかということが具体的に記述されていません。 「業務運営の改善」にぜひ、目標を達成したかどうかの評価をきちんと行い、そのフィードバックによる改善を継続的に実施できる仕組みを組み入れていただきたいです。	具体的な指標の設定については中期計画に委ねる方針としています。また、地方独立行政法人法の規定に基づき、毎年度の業務の実績や、第1期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績の評価を行っています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
5	1	第一期の評価を定量化できないでしょうか?それに基づき、第二期では、具体的にどのように改善、成長させるのかを数値で表現できないでしょうか?	具体的な指標の設定については中期計画に委ねる方針としています。また、地方独立行政法人法の規定に基づき、毎年度の業務の実績や、第1期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績の評価を行っています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
6	1	第一期計画の評価を踏まえて、良かった点は伸ばし、改善点は修正するというプロセスが必要である。	地方独立行政法人法の規定に基づき、毎年度の業務の実績や、第1期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績の評価を行っています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
7	1	HP上に、「試験研究機関として、イノベーションの創出を支援し、県内産業と科学技術の振興を図ることにより、豊かで質の高い県民生活の実現と地域経済の発展に貢献します。」とありますが、実質的にどのような成果が上がっているかがHP上では見受けられませんでした。最終ゴールは支援ではなく、いかにして地域経済の発展を実現したかなので、その部分をきちんと開示していただきたいと思います。結果が出ていないようであれば、結果が出ていない事実と改善策を提示いただけたら良いのではと思います。	地方独立行政法人法の規定に基づき、毎年度の業務の実績や、第1期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績の評価を行っています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
8	1	企業支援、特に中小企業支援の分野は、できるだけ具体的に、K I S T E C独自のノウハウなども駆使して、もっと充実した内容が欲しいと思います。	具体的な取組については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
9	1	海外の低価格製品の流入や、企業の外資への身売りなどによって国内産業の基盤がこれ以上脆弱化することのないように、県と一緒に国へも働きかけ、科学技術を大切にする国民意識を育み、我が国の産業を守っていただきたい。	県内産業と科学技術の振興は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
10	1	健康で長生きできる生活や疲労・ストレス社会の課題に対応するため、「食」や「健康」に関する取り組みは、引き続き重要である。	持続可能な健康長寿社会の実現は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C

意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
11	1	産技センターとKASTが統合し、2つの組織の長所を融合することで、1期では基礎研究から事業化までのシームレスな支援の成果をあげてきた。これらの利点をさらに進化させ、2期の中期目標としては、県内だけへの貢献ではなく、国内、さらには世界に向けたグローバルな展開にも期待する。	県内企業の海外展開の支援及び研究成果の県外への展開は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
12	1	中小企業支援についてですが、経済のグローバル化が世界的に進んでいると強調しイノベーションを起こすと述べながら県内（国内）に注力しすぎていると感じています。 「県内の中小企業と世界企業を繋ぐ支援」が重要課題かと思います。	県内企業の海外展開の支援は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
13	1	全体的に、第一期より踏み込んだ内容となっていると感じました。	中期目標のもと、イノベーションの創出を支援し、県内産業の発展及び県民生活の向上を図ってまいります。	E
14	1	産業構造の変化をはじめ、さらにはコロナの影響など、近年の社会情勢の変化は著しく、そうしたことへの認識も踏まえた目標設定とされていることも、前回の時よりも一定程度が見えてきたことの表れと思われる。より一層具体的な取組につながっていくことを期待いたします。	中期目標のもと、イノベーションの創出を支援し、県内産業の発展及び県民生活の向上を図ってまいります。	E
15	1	P1「社会を取り巻く状況」に、「異常気象や自然災害の増加」とあるが、近年の状況としては、「増加」という回数を想起させる文言よりも、「激甚化」しているという質的变化を掲げたほうが適当である。	ご意見の趣旨については、前文の記載に反映しました。	A
16	1	P2「SDG sの実現に向けた」と「SDG sに向けた」が混在しているので、統一を図った方が理解しやすい。	ご意見の趣旨については、前文の記載に反映しました。	A
17	1	(産業構造の変化について) 1990年代後半から加速したIT革命により、光回線などの通信インフラの整備は既に行われており、今後5G通信網の整備はあるものの、加速するとは言えない状況である。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ICTの活用の重要性はますます高まっている。	ご意見の趣旨については、前文において「デジタルの活用は加速し、」「このように、(略)感染症など人々の生活と意識を一変させる新たな潮流のもと、持続可能な社会への転換を図っていくことが一層重要となっている」と記載しています。	B

意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
18	1	「Vibrant INOCHI」とは何かがよくわからない 「地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所第二期中期目標（素案）」の（第二期中期目標期間の方向性～Vibrant INOCHIの実現を目指して～）は前半の文章と「Vibrant INOCHI」の関連性が不明で論理をなしていません。結果、「Vibrant INOCHI」とは何なのか説明になっていません。 健康が大切なことは理解できますが、横文字のスローガンがあるだけで具体性がなく、活動目標としては適切とは思えません。もう少ししっかりとした説明をお願いいたします。	ご意見の趣旨については、前文の記載に反映しました。	A
19	1	P2の「第二期中期目標期間の方向性」にある、キーワード“Vibrant INOCHI”がわかりにくいと感じた。キーワードについては、「さらに、～」以下3行で説明がなされているが、Vibrantの意が十分に表現されていないのではないか。	具体的な取組については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
20	1	「～Vibrant inochiの実現を目指して～」部分は、削除した方が良い。 「Vibrant inochi」は、黒岩神奈川県知事が提唱している概念だが、現状、社会一般でその意味が安定的に理解される用語となっていない。加えて、中期目標期間中に知事選が想定されており、知事選後の期間についても、当該概念を用いた方向性とするのは、現時点では、極力避けるべきである。	「Vibrant inochi」は一人ひとりの「いのち」が輝く、持続可能な健康長寿社会の実現に向けた県の取組です。当該取組の認知度の向上は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
21	2	産業技術総合研究所には、本県の科学技術拠点として、人材育成、中小企業の支援などに一層の成果を期待する。	ご意見の趣旨については、「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」において「県内産業と科学技術の振興及び豊かで質の高い県民生活の実現を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B

意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
22	2	<p>KISTECが今後とも県民生活の向上に貢献していくことを望む。</p> <p>ただそれは県内中小企業の支援という短期的な視点にとらわれず、長期的な視点から産業構造の変化に合わせた基礎的な研究開発に重点を置くべきである。</p> <p>さらに何が生活者の視点から真に大切な事業なのか、深い考察を今後ともされたい。</p> <p>さもないと社会的弱者も含めた生活者のニーズに応えられない、単なる企業の利潤追求の支援機関に墮落する可能性がある。</p> <p>公の機関としての社会的責任を今後とも認識し続けることが大切かと思われる。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 1 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発」において「様々な社会課題の解決や県民生活の向上につながる研究の開発を推進する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
23	2	<p>第二期中期目標期間に向けた期待にも記載のある通り、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなどSDGsに向けた消費者の意識変化に対応した企業活動が今後不可欠であり、研究開発や人材育成においてもこの視点をベースとした取り組みとなるよう期待します。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 1 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発」において「様々な社会課題の解決や県民生活の向上につながる研究の開発を推進する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
24	2	<p>神奈川県や県内市町がカーボンニュートラルを表明していますが、その実現には技術革新が不可欠と考えます。</p> <p>企業の省エネをはじめとする温室効果ガスの削減等に貢献できる技術を開発して、それを神奈川から全国に広めるような研究を進めることを期待します。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 1 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発」において「様々な社会課題の解決や県民生活の向上につながる研究の開発を推進する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
25	2	<p>1. 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発に関して、県内企業の製造プロセスのご支援ができると思います。</p> <p>例：県内工業系製造業の場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの観点から従来の金属・石油を原料する素材から植物由来の原料に変えて製品を製造する際の製造プロセスの研究開発。</li> <li>・EV車は重量に限りがあることから軽量化に繋がる原料による製造プロセスの研究開発。</li> </ul> <p>上記のような製造プロセスを県内企業にノウハウとして得いただき、県内関係機関と連携して協力会社の紹介もできるような体制ができると成長産業の創出と社会課題の解決につながると考えます。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 1 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発」において「様々な社会課題の解決や県民生活の向上につながる研究の開発を推進する」と、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「経営支援機関及び他の技術支援機関等と連携し、企業に対する総合的な相談対応機能の強化を図る」と、それぞれ記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B



意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
26	2	<p>現在、新型コロナウイルス感染症により、テレワークの推奨やオンライン教育など、これまでの暮らしから大きく変化しており、今後、より一層の通信インフラの整備が求められていると考えます。また、SDGsの実現に向けて限りある資源の効率的・循環的な活用が求められています。</p> <p>このようなことから本目標に基づいて、特に通信技術や再生可能エネルギー等の分野における研究開発・企業支援を行っていただき、県内の新たな成長産業の創出や技術の発展を期待したいです。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2-1 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発」において「様々な社会課題の解決や県民生活の向上につながる研究の開発を推進する」と、「第2-3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」において「県内企業等が急速な産業構造の変化に適応できるように、成長分野への事業転換を支援する」と、それぞれ記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
27	2	<p>大企業の基礎研究所が消滅する中で、大学の基礎研究の成果を企業につなげる橋渡し研究（中長期の研究を担う）機関としての役割を今後も担っていただきたい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2-1 新たな成長産業の創出と社会課題の解決に向けた研究開発」において「研究シーズを企業等の新技術や新サービスの開発に結びつける」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
28	2	<p>・3ページ 下から2パラ目 法人の研究成果を展開するためのコーディネート業務の強化や、展示会及び連携機関が主催するマッチングの場へより積極的に参加することが必要と思います。</p>	<p>研究シーズのマッチングは重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
29	2	<p>新産業創出やイノベーションについては、県内企業だけで完結せず、広域なエコシステム構築やマッチングを期待する。</p>	<p>広域的な取組は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
30	2	<p>活動の中から標準化への要件などが見いだされれば良いと思います。何らかの形で標準化との接点が作れば良いのではないかと思います。</p>	<p>研究開発成果の標準化は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
31	2	<p>県内企業のイノベーションの創出や、県内企業の競争力の強化を支援することが、産業技術総合研究所の方向性であることに異論はないが、中小企業の中には、大企業の下請け等を生業とする企業が数多くあり、そうした企業は「イノベーションの創出」や「競争力の強化」以前に、基礎的な技術支援を求めている企業も多いので、そうした基礎的な支援についても引き続き力を入れて取り組んでほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2-2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」において「中小企業等が単独では解決できない技術的課題や製品開発等に対して、技術やノウハウを活用した最適な支援を提供する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
32	2	<p>(第二期中期目標期間に向けた期待について)</p> <p>日本経済は、本田宗一郎による新型エンジンの開発やトヨタのカンバン方式による生産効率化などを契機として、自動車産業をけん引役として発展してきたものの、カーボンニュートラル社会への移行に伴い、自動車産業においても、ガソリン自動車から電気自動車への転換が、2025年以降に加速していくと見込まれている。</p> <p>1990年代以降に起こったIT革命や、2050年に向けたカーボンニュートラル社会への対応が必要とされる中、欧米やアジアの新興国においては、太陽光パネルや電気自動車の量産化が進む一方、日本では、水素量子エネルギー、人工光合成、水素エンジンの開発など世界に先駆けて研究開発を行っている企業もまだ存在している。</p> <p>本田宗一郎の自動車開発は、戦後の困窮の中、自転車の発電機を付けた原付の開発から始まったというから、出遅れてしまった分野においても、引き続き、あきらめることなく、粘り強い支援の継続が必要である。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」において「中小企業等が単独では解決できない技術的課題や製品開発等に対して、技術やノウハウを活用した最適な支援を提供する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
33	2	<p>「(略)カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなどSDGsに向けた消費者の意識変化にも配慮した企業活動が不可欠(略)」と新しい記述あるが、そもそも中小零細企業では、意識、配慮は不可欠と分かっているが経営的に余裕がないため、支援をどのようにして行くか重要である。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」において「県内中小企業等が抱える潜在的な課題や、将来必要となる技術等を想定し、能動的な解決提案を行う」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
34	2	<p>カーボンニュートラルについては、企業が取り組むべきことと考えられているが、実際に何をすればよいかわからないという声もよく聞く。そのため、技術支援ができるような研究開発機関は非常に重要であると考えます。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」において「県内中小企業等が抱える潜在的な課題や、将来必要となる技術等を想定し、能動的な解決提案を行う」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
35	2	<p>P4「2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」について。中小企業等が現在抱える課題だけでなく、先見性を持ち、将来を見通して先回りした支援が必要である。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」において「県内中小企業等が抱える潜在的な課題や、将来必要となる技術等を想定し、能動的な解決提案を行う」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B



意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
36	2	利用者が遠隔地であっても利用しやすいように、サービスの向上を図る必要がある。	ご意見の趣旨については、「第2-2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」において「オンラインによる相談体制の構築を進め(略)新しい支援サービスの開発を目指す」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
37	2	P4「2 県内企業等の競争力の強化を図る技術支援」について。技術支援にあたっては、最新の技術動向を反映して、常に、ニーズを先取りした新たなサービスを提供していく必要がある。	先端技術を活用した支援の提供は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
38	2	県内企業等の競争力の強化を図る技術支援については、一般的なことが記載されており、具体的にどのような方法で技術支援をしていくのか、KISTEC独自の支援方法などにも言及したほうがよいと思います。	具体的な取組については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
39	2	グローバル化、COVID-19の感染拡大により、既存事業からの転換を含んだ新事業展開や、イノベーションを企業は求められています。これらの企業の取組をバックアップすることは意義があります。	ご意見の趣旨については、「第2-3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」において「県内企業等が急速な産業構造の変化に適応できるように、成長分野への事業転換を支援する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
40	2	デジタル技術の向上に伴う「DX」や環境意識の高まりによる「カーボンニュートラル」への対応は、世界的にも産業のさらなる発展のために必要不可欠であり、その重要度は年々増していくものと認識しています。 しかしながら、地域の支援機関（商工会議所、金融機関、自治体）では、このような専門分野に対する知見が不足しています。今回の第二期中期目標においてはこれらの課題に対する支援を明確に記載いただいております。企業からの問い合わせや相談に対し、産業技術総合研究所の人的・技術的支援を案内できることを非常に心強く思っています。引き続き、積極的かつ先進的な支援をお願いします。	ご意見の趣旨については、「第2-3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」において「県内企業等が急速な産業構造の変化に適応できるように、成長分野への事業転換を支援する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
41	2	<p>この10年で産業を取り巻く環境は大きく変わりました。また、コロナにより社会様式がシフトしたことで、この先の産業変化は一層加速することは明らかです。</p> <p>神奈川県もこれまでは自動車を中心とした製造業がベースとなり、安定した産業基盤がありましたが、今後のEVシフトにより、内燃機関に関連する企業は淘汰されていく可能性が極めて高く、産業の停滞や下降も十分考えられます。</p> <p>そのため、県機関であるKISTECには、旧態依然としたサービスや研究を継続するのではなく、大きく考え方を転換してもらい、県内中小企業を牽引する新しいサービスや技術の提供に力を注いでもらい、県税をしっかりと企業に対して還元してもらおうよう強く要望します。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」において「県内企業等が急速な産業構造の変化に適応できるように、成長分野への事業転換を支援する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
42	2	<p>産業構造の変化に伴い、既存の技術相談、試験計測など公設試験機関としての役割だけでなく、デジタル化やSDG's実現のための環境政策に関わる技術発展に貢献することがますます求められていると思います。</p> <p>製造業のイメージも以前のように一括りにできないほど多様化しています。ICT技術に関連する開発、製造が今後ますます拡大することが予想され、その分野に見合う人材育成や開発資源を供することのできる総合的な技術機関となることを期待しています。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」において「県内企業等が急速な産業構造の変化に適応できるように、成長分野への事業転換を支援する」と、「第2 4 イノベーションを推進する人材の育成」において「デジタルの知識やそれを活用できる人材（略）など、イノベーションを推進することのできる人材を育成する」と、それぞれ記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
43	2	<p>p 4 「3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」について。県内企業等が自らDXを「推進」するだけでなく、中小企業等がDXに「適応」することに対しても支援が必要である。中小企業等は自らDXを「推進」することが、当該企業にとって最善とは限らない。DXは、個別企業のICT化やICTの活用ではなく、社会変革を伴う大きな概念であるため、個別企業がDXを「推進」という表現に違和感がある。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」の記載に反映しました。</p>	A
44	2	<p>p 4 「3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」について。抗菌・抗ウイルス評価については、社会の要請に応える取り組みが必要である。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 3 県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援」において「抗菌・抗ウイルス評価は、社会的な要請に応えられるよう、評価体制のさらなる強化を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
45	2	・ 4 ページ 3 1行目 知財の重要性を認識していない中小企業もまだ多いように思います。セミナー等を通じた普及啓発を行うとともに、知財総合支援窓口と連携した支援がより重要になると思います。	知的財産権を活用するための支援は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
46	2	県内企業等の製品及びサービスの開発並びにその事業化に係る支援については、どのように製品化・事業化を支援していくのか、支援体制をどのように強化していくのか、もっと具体的に説明をしたほうがよいと思います。	具体的な取組については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
47	2	次代を牽引しイノベーションを推進するためにデジタル人材が求められており、その人材育成に力を入れていただきたい。	ご意見の趣旨については、「第2 4 イノベーションを推進する人材の育成」において「デジタルの知識やそれを活用できる人材（略）など、イノベーションを推進することのできる人材を育成する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
48	2	第二期中期目標案に記載いただいた「ものづくり基盤技術の高度化を基礎としつつ、デジタル化や製造業のサービス化に繋がる新たな企業支援、さらには産業構造の転換に対応できる人材の育成に積極的に取り組んでいく」は大いに賛同します。当方としても期待したい方向性です。	ご意見の趣旨については、「第2 4 イノベーションを推進する人材の育成」において「イノベーションを推進することのできる人材を育成する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
49	2	「さらには産業構造の転換に対応できる人材の育成に積極的に取り組んでいくことを期待したい。」とあるが、まさしく「人材の育成」が一番の課題となる。K I S T E Cとしてどのように取り組んで行くか疑問がある。	ご意見の趣旨については、「第2 4 イノベーションを推進する人材の育成」において「イノベーションを推進することのできる人材を育成する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B

意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
50	2	頭脳流出が起きないように、我が国の科学技術の魅力を高めるとともに、教育部門とも連携して、人材の育成と支援について、神奈川からしっかり取り組んでいただきたい。	ご意見の趣旨については、「第2 4 イノベーションを推進する人材の育成」において「産学が連携したセミナーや研修を組み合わせることにより、様々な組織が協創できる機会を創出（略）していく」、「小中学生等を対象に、科学技術の理解増進に向けた活動に取り組む」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
51	2	p 5 「4 イノベーションを推進する人材の育成」について。これからのイノベーションを担う創造的な人材の育成を、さらに進めることは重要である。	ご意見の趣旨については、「第2 4 イノベーションを推進する人材の育成」において「これからのイノベーションを担う創造的な人材を育むために、小中学生等を対象に、科学技術の理解増進に向けた活動に取り組む」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
52	2	少子高齢化が急速に進む中で、企業の技術の高度化による競争力の強化を進める必要があります。ITリテラシーの向上し、AI、IoT、RPA、ロボット技術などを当たり前の技術として活用するために、人材の学び直し、リカレント教育の推進にもKISTECは重要な役割を果たすべきだと思います。	県内企業の競争力強化に資するリカレント教育は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
53	2	長期的な視野で、イノベーションを推進する人材育成に向けた取り組みが必要である。	長期的な視点に立った人材の育成は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C

意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
54	2	<p>KISTECは人材育成も大きな柱の一つとしており、素案の人材育成の項で小中学生に対する理科教育について触れておられます。いわゆる出前教室です。もっともっと積極的に取り組むべきでそれを抽象的でなく具体的に素案の中に入れていただきたいと考えております</p> <p>神奈川県には小学校、中学校、特別支援学校で1400校以上ありますが、コロナの影響のここ2、3年を除けば通常年間100校程度しか学校から応募がありません。この出前教室は児童生徒の理科教育に大いに役立っているのに7%程度の学校でしか実施されていないのは極めて残念であります。</p> <p>なぜ応募する学校が少ないのかの検証から初めて例えば3年間で200校で実施できるようにするといった具体的目標を掲げてはいかがでしょうか。</p> <p>KISTECで出前教室にかかわる要員は少なく本気で取り組んでいるようには思えません。要員不足であれば講師は大体退職者ですのでボランティアで募集すれば多くの応募が来ると思います</p> <p>出前教室の予算は県から出ていると聞いていますが応募する学校が多くなれば県としても予算を増やさざるを得なくなると思います</p>	<p>具体的な指標の設定については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
55	2	<p>スタートアップやベンチャー企業の創出、新たな成長産業の創出においては、地域のイノベーション・エコシステムとして構築した近隣のビジネスインキュベータなどとの連携により成長を促進するシームレスな事業化支援を期待します。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「経営支援機関及び他の技術支援機関等と連携し、企業に対する総合的な相談対応機能の強化を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
56	2	<p>KISTECに求められる事柄は、県内中小企業の基礎研究、応用研究、実用化研究に切れ目なく取り組み、知的財産を創出するとともに、その研究シーズを企業等の新技術や新サービスの開発に結びつけることが使命だと思います。</p> <p>ただし、外部環境の不確実性や社会課題の複雑化、また消費者のニーズや価値観が大きく変化したことにより、製品を作れば売れるといった時代ではなくなりました。</p> <p>今後のKISTECは技術的な支援のみならず、県内の様々な経営支援機関と更なる連携を図り、マーケティングなど企業経営に必要な事項を支援できる仕組みづくりと実施が期待されると思います。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「経営支援機関及び他の技術支援機関等と連携し、企業に対する総合的な相談対応機能の強化を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B



意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
57	2	・ 4 ページ 3 1行目 中小企業を伴走型で支援するためには、神奈川産業振興センターをはじめとした支援機関との連携強化が重要です。	ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「経営支援機関及び他の技術支援機関等と連携し、企業に対する総合的な相談対応機能の強化を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
58	2	企業・大学・多くの産業支援機関の協創による取組の中で、研究開発や技術支援を基盤とする地域産業界のイノベーション創出支援機関としての積極的な活動を期待します。	ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「企業・大学・他機関等が協創するプラットフォームとしての機能を強化する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
59	2	p 5 「5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」について。KISTECが協創のプラットフォームとして機能することを期待する。	ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「企業・大学・他機関等が協創するプラットフォームとしての機能を強化する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
60	2	・ 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流 経営支援機関、他の技術支援機関、企業、大学、そして県、そのハブ機能を有するKISTECというイメージを盛り込むべきだと思います。	ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「企業・大学・他機関等が協創するプラットフォームとしての機能を強化する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
61	2	地域の金融機関との連携を深め、地域経済の活性化に貢献することが重要である。	ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「金融機関との連携強化（略）などにより、企業等による共創の取組を創出し、その活動を支援する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
62	2	<p>主にCovid-19を発端としたデジタル化の急激な加速と、SDGsへの社会的な認識が高まりカーボンニュートラルの実現に向けた具体的な取組が求められている中で、産業構造も大きな変化をむかえ、人々の消費行動、ニーズも大きく変わり、それに対応するために企業のものづくりに対する考え方、体制もこの変化に適応していかなければならない。</p> <p>それに応えるべく5本の柱により具体的な支援内容が記載されていますが、研究開発、技術支援、事業化支援、人材育成のそれぞれに関わるセクションでの確かなニーズを把握するには、やはり現場に足を運んで直接企業経営者の方などから意見を聞くこと、他の支援機関や金融機関との連携強化は大変期待が持てると感じました。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「経営支援機関及び他の技術支援機関等と連携し、企業に対する総合的な相談対応機能の強化を図る」、「金融機関との連携強化（略）などにより、企業等による共創の取組を創出し、その活動を支援する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
63	2	<p>まずは地域での活動を通じ成功事例を積み上げ、国内に適用可能なノウハウとして他地域へも展開されることを期待します。その意味では、成功事例や失敗事例をモデル化し、共有できるようになっていると資産として生きるのではないかと思います。</p>	<p>ご意見の趣旨については、「第2 5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」において「国の研究機関や近隣都県の試験研究機関等と連携し、情報や保有するデータ等の共有（略）を推進する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。</p>	B
64	2	<p>素案の第2の5オープンイノベーション等を推進する連携交流についてですが、“フラット”かつ“シンプル”な連携の仕組みで企業の各種課題にそれぞれの機関の得意分野で“スピーディー”に対応することが、今後より一層求められると考えています。</p>	<p>連携交流におけるスピード感を持った取組は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
65	2	<p>P5の「5 オープンイノベーション等を推進する連携交流」で、「経営支援機関及び他の技術支援機関等と連携し、企業に対する総合的な相談対応機能の強化を図る」とあることについて、その姿勢は大いに賛同するところである。ただ、連携については安易に機関数を増やすのではなく、意欲的な機関を厳選すること、さらにその中で連携を牽引する機関が重要だと考える。KISTECがこうした連携交流の中で主導的な役割を果たしていくといったことを中期目標として打ち出していてもよいのではないかと。</p>	<p>連携交流において積極的な役割を果たすことは重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
66	2	<p>県内企業の競争力強化を図るのに、地域の大学やTLO、横浜市、川崎市などとの連携活動を成果の上がる大きな活動とするための具体的な方策が織り込めると良いですね。</p>	<p>具体的な取組については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
67	3	P5「効果的・効率的な組織運営」について。既存事業や業務の見直しやスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、無駄の少ない業務運営を行う必要がある。ただし、課題の性質によっては、研究開発に一定の期間を要するものもあるため、事業や業務の見直し等にあたっては、あまり近視眼にならないようにすることも必要である。	長期的な視点に立った組織運営は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
68	3	民間企業がリスキリングを進めているように、KISTECにおいても職員を増やすのではなく、リスキリングに取り組み、体制の構造転換も不可欠だと思います。その上で、中小企業に対してもリスキリングの研修やサービスを早期に提供してもらいたいと思います。	ご意見の趣旨については、「第3 2 効果的・効率的な人事制度の運用」の記載に反映しました。	A
69	3	産業技術センターが、独立行政法人となって、4年が経ちましたが、専門的な技術を持った職員の方々モチベーションを落とさないよう、長期的な視野にたった人材育成がされることを願います。	ご意見の趣旨については、「第3 2 効果的・効率的な人事制度の運用」において「人材の育成・研修を効果的に実施することにより、職員の意欲及び能力の向上を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
70	3	・4ページ 2 上から3段落目 デジタル人材の新たな採用・確保に努めるのはもちろん、既存の職員も専門分野を問わず、IoT/AIに関する知識を身に付けることが必要と思います。	デジタルの知識を身に付け職務に生かすことは重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
71	3	・6ページ 上から1行目 デジタル人材をはじめとして、若い世代の職員を採用することが重要だと思います。採用活動の一環として、連携している大学等の研究室に技術系職員が赴き、学生に対してKISTECの研究成果や認知度を上げていく必要があると思います。	人材を確保するための広報活動は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
72	3	P6「働き方改革」の例として、「テレワークや時差出勤」が示されているが、本来、「長時間労働の是正」を想起させる文言でもあるので、工夫が必要である。	長時間労働の是正だけでなく、職員がそれぞれの事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択できるよう取り組んでまいります。	E
73	3	P6「1 収入の確保」について。競争的資金等の獲得に努めることは重要である。	ご意見の趣旨については、「第4 1 収入の確保」において「提案公募型の競争的資金等の獲得に努める」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B

意見 番号	意見 分類	意見	県の考え方	反映 区分
74	3	これまでの間に一定の成果が得られてきたことと思われま。成果をホームページ等で積極的に発信されるとよいと思いました。ホームページもわかりやすい構成だと思いましたので、ぜひ支援等を必要とする企業が存在を知り活用できるよう、（認知度はわかりませんが）、効果的にPRをしていただけるとよいと思いました。	ご意見の趣旨については、「第5 3 広報の強化」において「サービス内容や研究成果等を積極的に広報する」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
75	3	KISTECの存在を知らない県内中小企業も多いことから、更なる周知活動や地域金融機関への接触機会を増やし、その存在感を示していきけるような活動が求められると思います。	ご意見の趣旨については、「第5 3 広報の強化」において「認知度の向上、利用者の拡大や研究成果等の普及等を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
76	3	P7「3 広報の強化」について。公費負担に対する県民の理解を得るためにも、研究成果等の普及といった形での広報が重要である。	ご意見の趣旨については、「第5 3 広報の強化」において「認知度の向上、利用者の拡大や研究成果等の普及等を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
77	3	現在、産業界は大きな転換期を迎えており、時代に即した中期目標であると考えているが、本研究所の取組について、地域の中小企業の認知度は未だ低いものと感じる。 また、自社の持つ魅力に気付いていない中小企業も多いのではないかと。ぜひ積極的な広報とともに、企業の発掘にも取り組んでいただきたい。	ご意見の趣旨については、「第5 3 広報の強化」において「認知度の向上、利用者の拡大や研究成果等の普及等を図る」と記載しており、第2期において取り組んでまいります。	B
78	3	第一期に引き続き、第二期中期目標において、広報の強化について、引き続き掲載されているが、中小企業側から見た時、産業技術総合研究所が自社にどのように活用できるか分かりずらく、「こんなレベルの相談をしても大丈夫か」といった不安からアプローチのハードルが高いところがあるので、ホームページ等の広報だけでなく、県内各市町と連携し積極的に県内各企業をまわり、事例を踏まえたアウトリーチ活動を充実させることで、より一層の活用が図れると考えます。 そのほか、中期目標（素案）には概ね賛成です。県内中小企業技術力向上、競争力の強化に繋がる取り組みを引き続きお願いいたします。	アウトリーチ活動は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C

意見番号	意見分類	意見	県の考え方	反映区分
79	3	最後の最後に「広報の強化」とあるが、中身がない。NIMSはYouTubeによって格段に著名となり、スタートアップが生まれるような好循環を始めた。KISTECも豊富な研究からできるはず。タダのように安いアバターを用いる手もある。	広報戦略は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
80	3	・7ページ 3 広報の強化 KISTECのHPを拝見しましたが、分かりにくい印象です。HPの充実を進める必要があるのではないのでしょうか。	分かりやすい情報発信は重要であり、ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
81	3	(広報の強化) まだまだ、KISTEC自体の役割や存在が不十分に感じる「利用者の拡大や研究成果等の普及等を図る。」の部分をもっと具体的に記載した方が良いでしょうか。	具体的な取組については中期計画に委ねる方針としています。ご意見については今後の取組の参考とさせていただきます。	C
82	4	次世代自動車をもっと増やさないとダメだと思います。 EVとかFCVとか…	次世代自動車産業に貢献する取組を実施してまいります。	E
83	4	行政手続きや相談等をオンラインでできるなど行政のIT化、教育のICT化をぜひ神奈川県が率先して進めてほしい。第二期中期目標（素案）にも目を通したが、まず行政機関にありがちな「長い文書」を改善してほしい。「業務のスクラップ・アンド・ビルドの徹底」という目標は素晴らしいと思うので、発行文書についても見直しをしていただき、読み手（神奈川県民）が読みやすい長さやポイントの絞り方など民間の手法もうまく取り入れてほしい。	読みやすい文書の作成に取り組んでまいります。	E